



# 「道の駅」の地域への波及 効果向上に向けた調査・分析

北方建築総合研究所 地域研究部 地域システムグループ  
佐々木 優二



# 本発表の関連研究

**研究課題名**：「道の駅」の地域への波及効果向上に向けた調査・分析

**実施年度**：R2-R3年度

**研究区分**：経常研究

**共同研究機関**：なし

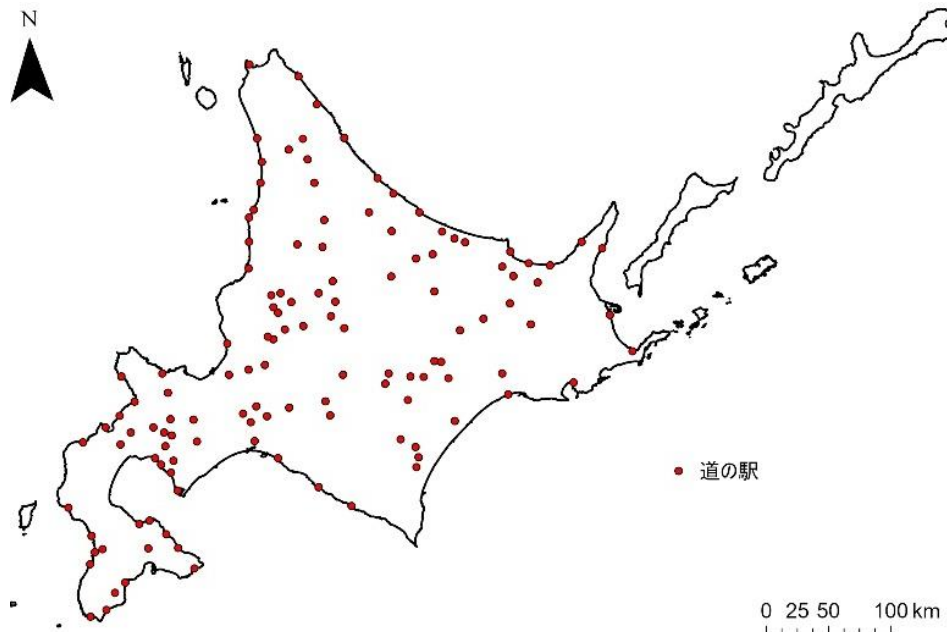
**協力機関**：北海道経済部観光局

# 研究背景と目的

## ● 「道の駅」の増加

- 2021年3月30日時点で道内には129の「道の駅」が登録されている。
- R2年度に3件、R3年度に1件\*が新規で登録されており、今後も「道の駅」の登録は増加することが想定される。

※2021年3月30日時点で登録決定済のみ



# 研究背景と目的

## ● 「道の駅」の課題

建築的な課題（ハード面）・運営的な課題（ソフト面）

⇒ 「道の駅」の制度が開始されてから約30年が経過しており、  
設立当初より発展し地域内外へ波及効果をもたらす「道の駅」や、  
衰退してしまっている「道の駅」が混在



「道の駅」のハード面、ソフト面の課題を明らかにし、  
その対応策について検討が必要である。

## ● 本研究の目的

「道の駅」の地域への波及効果を高める要因を明らかにし、市町村が  
「道の駅」を新築・改修および運用改善を行う際に活用できるノウハウを  
まとめた資料集を作成する。

## 結果の概要①

## 市町村・管理者へのアンケート

5/13

## 調査対象

1. 道内の「道の駅」を有する自治体
2. 「道の駅」の管理者

## 調査概要

- 配布数：自治体127、管理者128
- 回答率：自治体51.2%、管理者50.8%
- 主な調査項目
  - ・自治体：「道の駅」の設置目的  
増改築等の実績  
設置効果 など
  - ・管理者：運営上の満足度  
来場者数、売上高、収支  
運営に携わっている団体 など

自治体様向け

「道の駅」の新設・改修に向けた  
道内全駅向けアンケート

現在、北海道内には「道の駅」が128か所あり、今後も新たな「道の駅」の登録が進むと考えられます。近年では「道の駅」に求められる機能・役割は多岐にわたり、地域活性化の中心核となるよう、利用者のニーズに合った「道の駅」が求められています。そのため本調査では、「道の駅」を有する自治体様の「道の駅」に対するご意向などを把握し、今後の「道の駅」の新設・改修の際の参考になる基礎データを収集することを目的としています。

※得られた結果は統計的な処理を行い、「道の駅」が特定されないように配慮します。  
※アンケート結果の集計に際して、詳細をお伺いするため個別にご連絡を差し上げることもありますので、市町村名と担当者名、連絡先をご回答ください。

## 【回答にあたってのお願い】

- 調査対象年度：調査票は平成31年度(令和元年度)の状況を、ご記入ください。
- 返送いただくもの：
  - ・回答済みの調査票(ワードファイル)「自治体様向け」
  - ・回答済みの調査票(ワードファイル)「管理者様向け」
  - ・その他、併せてご提供いただきたいデータ(既存のデータで差支えございません)
    - ①「道の駅」の設置時の基本計画書
    - ②建物図面
    - ③過去5年間の客数、売上高データ
- ご回答期限：令和2年12月18日(金)
- その他：
  - ・「選択」する問いに関しては、あてはまる項目の「□」をクリックしてください。選択されると「☑」と表示されます。
  - ・数値が不明な箇所等、答えられない設問については空欄で構いません。

## 【お問合せ先、回答先】

(地独)北海道立総合研究機構 建築研究本部  
建築性能試験センター 安全性部 評価試験課 下ノ齒(しものその)  
住所: 北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-20  
メール: [shimonosono-kei@hro.or.jp](mailto:shimonosono-kei@hro.or.jp) 電話: 0166-66-4235(直通)

## 【ご回答者様に係る情報】

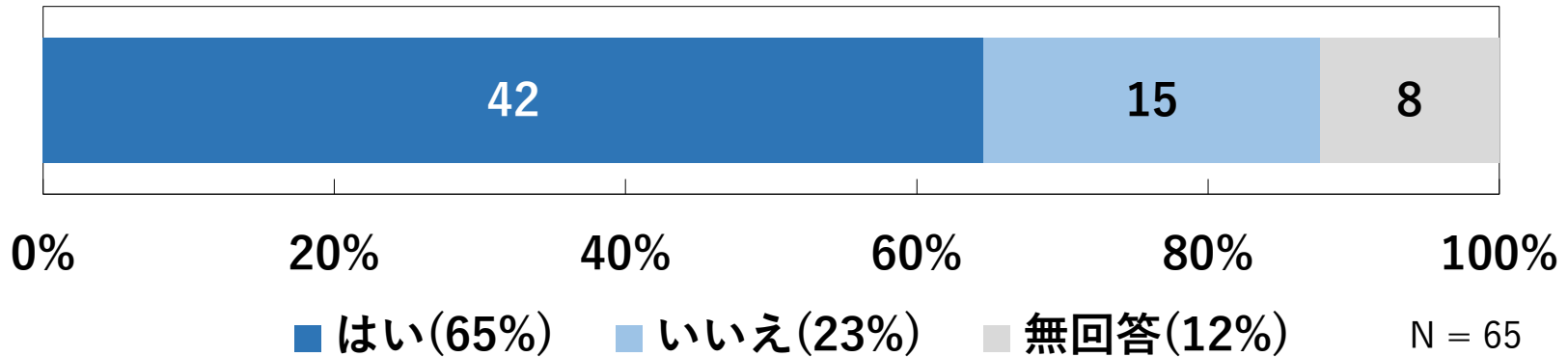
市町村名	
ご担当者様氏名	
電話番号	
メールアドレス	

## 結果の概要②

## 市町村・管理者へのアンケート

6/13

## ○ 「道の駅」を設置してまちに何らかの効果があったか



## ■ どのような施設に効果があったか。

- ・ 観光施設：11
  - ・ 温泉／宿泊施設：10
  - ・ 飲食店：9
  - ・ キャンプ場などのレジャー施設：4
  - ・ 「道の駅」周辺に飲食店が増加：1
  - ・ 遊戯施設：1
- など

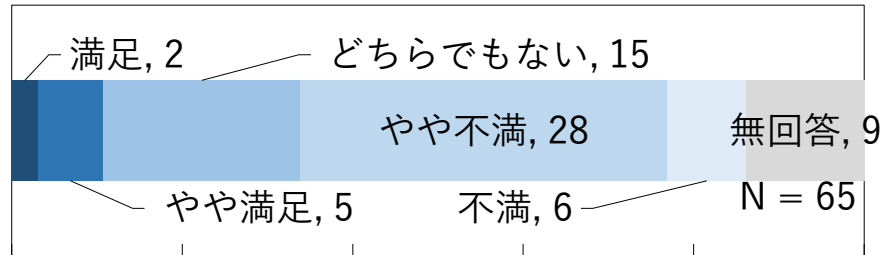
## ■ 周辺施設に効果をもたらすための工夫

- ・ デジタルサイネージ等による情報発信：10
  - ・ クーポンの配布：5
  - ・ レンタサイクル：3
  - ・ 観光コンシェルジュの常駐：3
  - ・ 宿泊施設が「道の駅」に隣接する観光施設見学付きプランを販売：1
  - ・ 周遊イベントの実施：1
- など

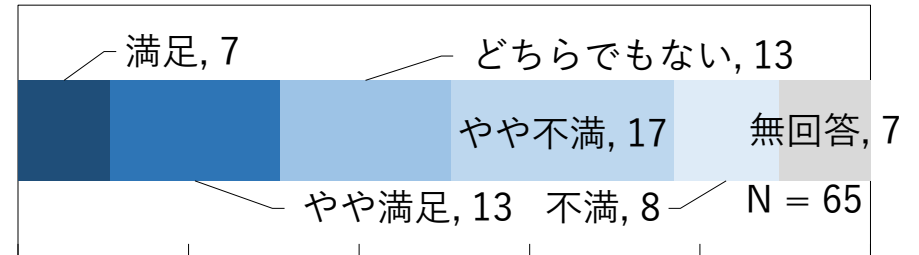
## 結果の概要③

## 市町村・管理者へのアンケート

## ○建物に対する満足度



(a) 建物規模に対する満足度



(b) 室内温湿度に対する満足度

## ○建設後すぐに増築する事例も・・・

- ・ 売場面積の拡大、地元特産品の提供機能増設のため（2008年新築 → 2016年増築）
- ・ 出店者の増加に伴う売場不足のため（2004年新築建物 → 2007年増築）

## ■不満側回答者のコメント（自由記述）

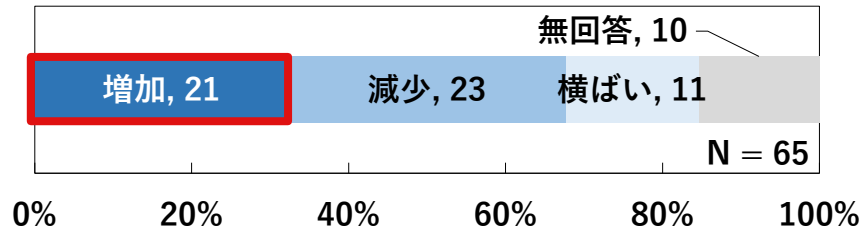
- ・ 平面レイアウトが複雑で段差もあり、床面の清掃に苦慮する。
- ・ バックヤードが狭い（8件）
- ・ 建物周囲が開口部となっているため夏期は日射により室内温度が上昇し、野菜の鮮度を保ちにくい。
- ・ 飲食スペースと物品販売の動線が重なっている。

## 結果の概要⑤

## 市町村・管理者へのアンケート

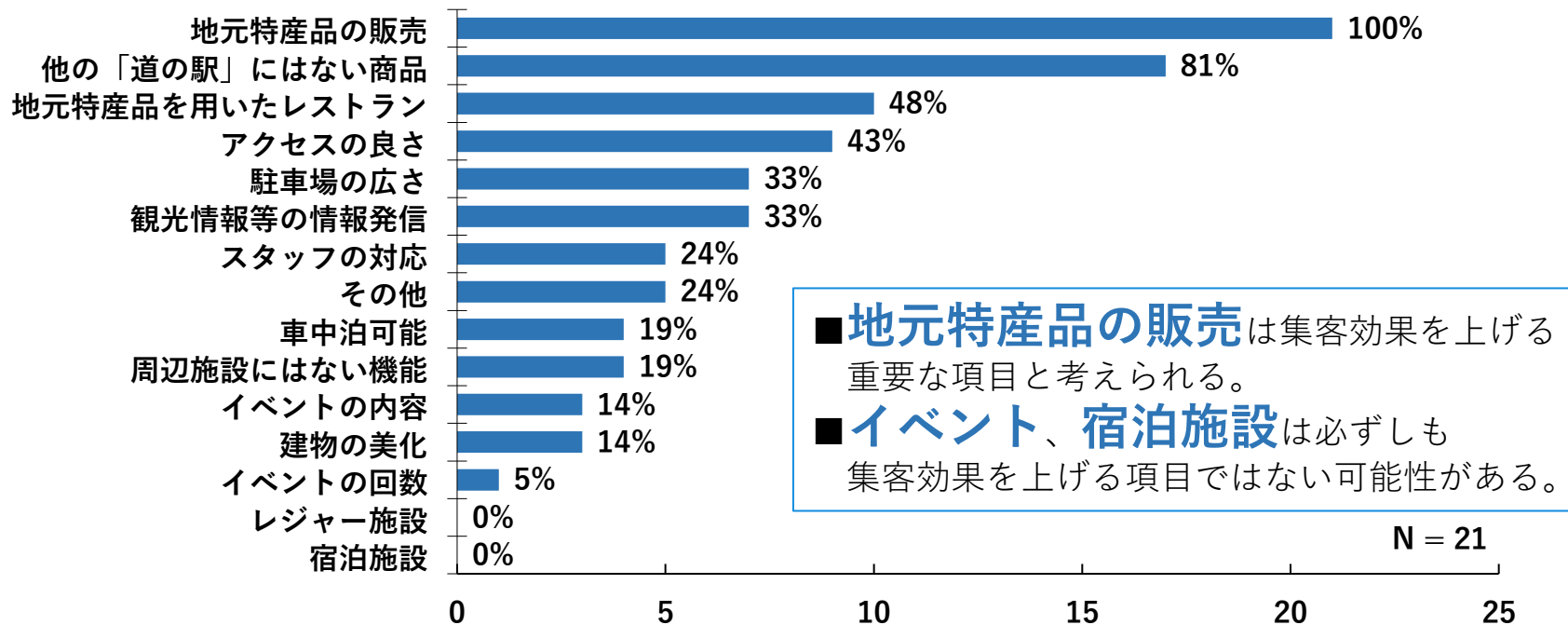
8/13

## ○「道の駅」がオープンした年度に対する来場者数の増減で分類



- 来場者数が**増加**している「道の駅」  
⇒ 当該「道の駅」の取組は他の「道の駅」にも参考になる可能性がある。

## ○集客効果を上げていると考えられる項目（来場者数増加の「道の駅」抜粋）



- **地元特産品の販売**は集客効果を上げる重要な項目と考えられる。
- **イベント、宿泊施設**は必ずしも集客効果を上げる項目ではない可能性がある。

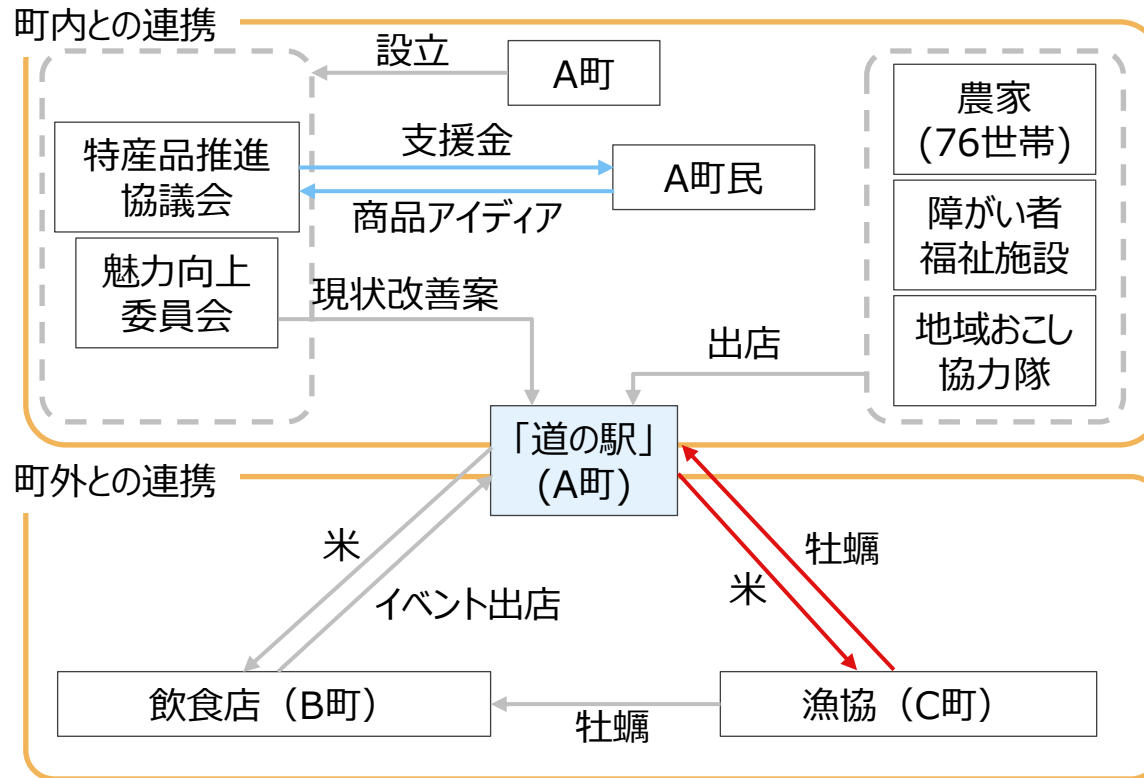
N = 21



## 結果の概要⑥

## 市町村・管理者へのアンケート

## ○ 「道の駅」 設置による地域内外への波及効果



## ● 地域内外への波及効果を確認

「道の駅」を介して、①地元企業が商品開発に着手、②町外で地元特産品の販売、③町外の特産品を販売、などの地域内外への波及効果が確認できる。

# ケーススタディ①

- インタビュー調査から、コンセプトを明確にしないまま設計・運営されている実態が明らかになる。  
→このことを踏まえ、ケーススタディとしてD町に参画

## ○D町「道の駅」整備検討委員会への参画

### ■2020年度

- 7/10 (金) D町役場打合せ
- 9/2 (水) 第一回「道の駅」整備検討委員会  
→委員に向けて「道の駅」事例を紹介。
- 9/30 (水) 第二回「道の駅」整備検討委員会
- 10/20(水) 第三回「道の駅」整備検討委員会
- 11/25(水) 第四回「道の駅」整備検討委員会
- 1/20 (水) 第五回「道の駅」整備検討委員会  
→アンケート結果を委員会で報告。
- 2/24 (水) 第六回「道の駅」整備検討委員会  
→「D町 道の駅基本構想」の資料編にアンケート結果の一部が掲載された。

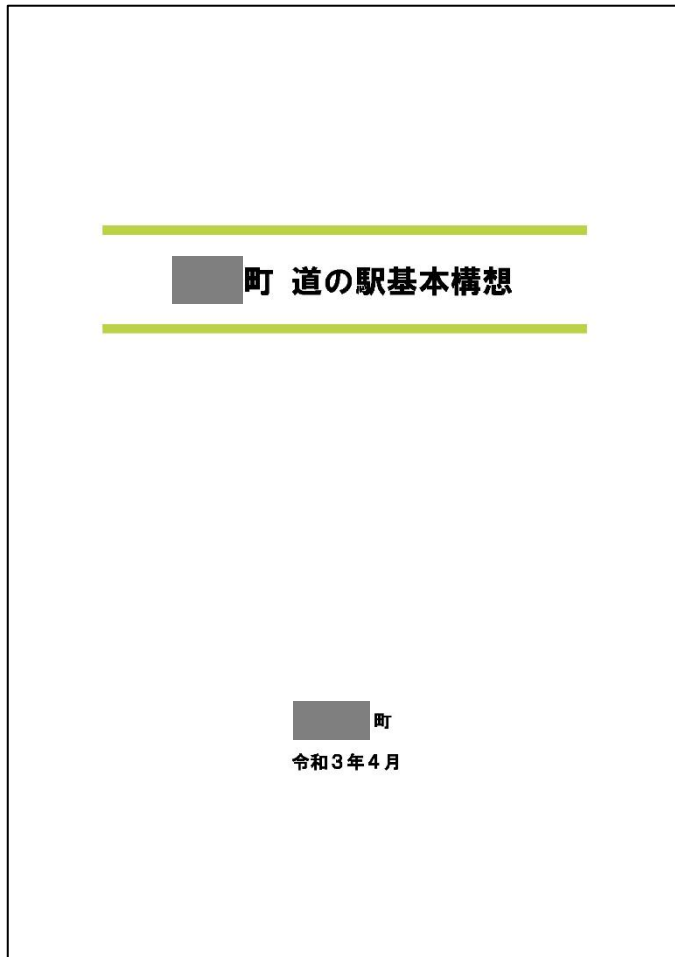
### ■2021年度

- 4/26 (月) 第七回「道の駅」整備検討委員会
- 9/1 (金) 第八回「道の駅」整備検討委員会
- 10/21(月) 第九回「道の駅」整備検討委員会
- 12/3 (金) 第十回「道の駅」整備検討委員会



# ケーススタディ②

## OD町「道の駅」整備検討委員会への参画



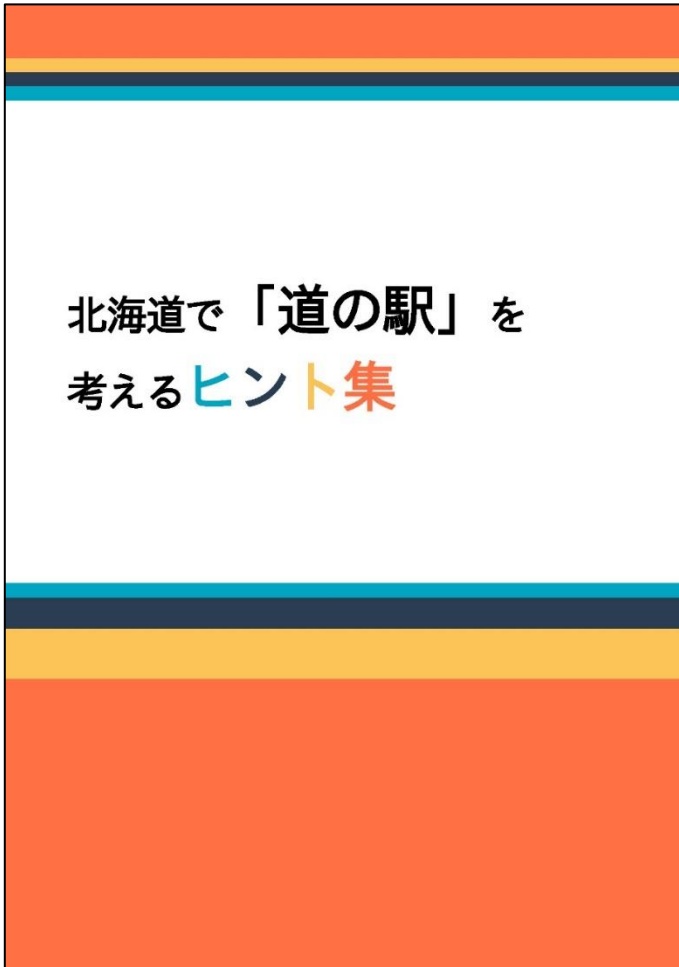
### ■ケーススタディの結果

他の「道の駅」の計画の際にも共通する可能性がある以下の項目を把握

- i) 「道の駅」の立地はどこにするか。
- ii) まちなか誘導の方法を検討。
- iii) 「道の駅」では何を販売するのか。

### ■「D町 道の駅基本構想」の資料編にアンケート結果の一部が掲載

# 研究結果をまとめた資料集



○報告書と併せて公開中です



PDF (2.95MB)

※PDFをご覧の方は、QRコード  
をクリックしてください。

■本資料集は、自治体のご担当者様が「道の駅」を新築・改修および運用改善を行う際に活用される。

# まとめ

- 1) 「道の駅」管理者や自治体へのアンケート・インタビュー調査から、建物の形状や温熱環境の制御といった**建築的な課題が抽出**された。
- 2) 「道の駅」を対オープン年度比の来場者数の増減で分類し、**来場者数増の要因として、「地元特産品の販売」、「他の道の駅にはない商品」といった項目が重要であることが確認**された。
- 3) 「道の駅」を介して、①地元企業が商品開発に着手、②町外で地元特産品の販売、③町外の特産品を販売、などの**地域内外への波及効果が確認**された。
- 4) ケーススタディとしてD町「道の駅」整備検討委員会に参画した。基本計画策定時には、立地や周辺施設への誘導方法といった、**他の「道の駅」の計画の際にも共通する可能性がある項目を把握**した。
- 5) 本研究で得られたアンケート結果の一部は「**D町 道の駅基本構想**」の**参考資料に活用**された。
- 6) 本研究の結果に基づき、**資料集を作成**した。